

投資事業評価調書（新規）

部課室名	農村環境課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農林環境課長 村上 主直 (課長補佐兼係長 福田 稔)	内線	3931 (4018)
------	-------	---------------------	--------------------------------	----	----------------

事業種目	用排水路整備	事業名	事業区間	総事業費 (評価対象事業費)	3.0億円
		地域用水環境整備事業	しんがみずあし 新井・水足	内用地補償費	- 億円

所在地	事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
加古川市野口町、平岡町	H18	H18	H22

事業目的	事業内容
当水路は、1655年に開かれた用水路であるが、現在は水路本体の老朽化や水路法面や管理用通路の荒廃が進み、維持管理に多大な労力を要しているため、水路・補給ため池の改修を図るとともに、地域住民が身近に自然とふれあえる場として、整備を実施する。	用水路工 L = 680m 遊歩道 L = 630m ため池 3箇所 【国:50%,県:25%,市町:12.5%,地元:12.5%】

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	<p>新井水路は、1655年に今里伝兵衛によって開かれた歴史ある水路であり、周辺関連ため池とあいまって、都市化が進展した中で、貴重な水辺空間として地域住民の多くが憩いの場所として利用している。</p> <p>一方、法面や管理用通路は荒廃が進み、地域住民から悪臭等の苦情が出るなど、受益農家や水利組合は、日常管理に大変苦慮している。</p> <p>そこで、水利組合や地域住民の代表、加古川市は、平成16年9月から新井水路を考える会、水足地区ため池を考える会を開催や「美しいむらづくりアドバイザー」を活用し、数回にわたって、新井水路及び関連ため池の保全や多様な活用を地域ぐるみで行うための検討・実践を行った。</p> <p>その結果、受益農家と周辺住民とが一体となって水路・ため池を管理・保全するため、法面保護や管理用道路、親水施設等の整備が必要とされている。</p>
(2)有効性・効率性	<p>新井水路及びその周辺ため池等の地域資源と一体的な整備を進めることにより、兵庫県が進める【いなみ野ため池ミュージアム】の一環として、水辺環境活用・創造の具現化が図られる。</p> <p>また、受益農家と地域住民による交流、憩いの場の活用を設立予定である協議会による地域主導で行うため、地域活性化の期待が大きい。</p> <p>さらに、受益農家と地域住民との交流による周辺環境に対する意識が高まり、地域が一体となった水路・ため池の維持管理、保全活動が期待できる。</p> <p>費用便益比 B / C = 4.84</p>
(3)環境適合性	<p>緑を守るため、法面緑化保護工やため池の植物や生物に対しては浅場を創造することで生態系への配慮を行い、木柵やデッキ桟橋には県産木材を用いる等環境への配慮を行う。</p>
(4)優先性	<p>水路本体のみならず水路法面や管理用道路は荒廃しており、早急な整備が必要である。</p> <p>また環境に配慮した整備についても、混住化の地域にあることから併せ行う必要がある。</p>